

## 電力総連の力を結集し、この難局を乗り切ろう

平成23年3月16日

全国電力関連産業労働組合総連合

会長 種岡成一

3月11日（金）14時46分、三陸沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震は未曾有の被害をもたらすところとなりました。

この地震によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

このたびの震災では、発電設備や送変配電設備に甚大な被害が生じ、最大で東北地方では約460万戸、関東地方では約405万戸の停電が発生しました。

本日現在、停電地域は着実に縮小に向かっておりますが、今なお被災地では数多くの停電が発生している状況にあります。なお、電力需要に対し十分な供給力を確保することが極めて困難な状況となっていることから、東京電力ならびに東北電力管内におきまして、やむを得ず計画的な停電をお願いせざるを得ない状況となっております。

このような中、震災発生直後より、全国各地から多くの仲間も被

災地に赴き、原子力発電所の安全確保やライフラインの復旧に向け、  
現在、昼夜を分かたず全力で取り組んでおります。

電力の安全・安定供給の確保に携わる者としての強い使命感を胸  
に、各職場・地域において、日夜懸命に取り組まれている電力関連  
産業に働く仲間の皆さんに心から敬意を表するものです。

私たち電力総連は、被災地の安全確保と復旧・復興に向け、働く者  
の安全を確保しつつ、引き続き組織一丸となって全力で取り組んで  
まいります。

仲間の皆さん。

今こそ電力総連の絆を確認し合い、力を合わせこの難局を乗り切  
ろうではありませんか。ともに頑張りましょう。

以上